

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	特別養護老人ホーム三ノ輪	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	--------------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区デイホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）

〔社会福祉事業会計〕歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円

〔公益事業特別会計〕歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区三ノ輪1-27-11

【開設】平成6年6月1日（13年経過）

【建物概要】延べ床面積 9617㎡のうち4604㎡ 三ノ輪福祉センター内
 鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち地上8階～地下2階部分

倉庫、駐車場（共用）、売店、リハビリ室、浴室（機械浴、一般）、ボランティア室、居室、静養室など

【入所定員】63名

【職員数】38名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1[兼務])、事務員(2)、相談員(1)、介護職員(常勤18、非常勤12)、保健師(1)、看護師(3)、栄養士(1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】入居者の健康管理、機能訓練、生活介助(食事、介護(排泄援助、入浴援助)、季節行事等) 地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】ベッドの稼働率目標を、特養 95%、短期入所 105%に設定。18年度の実績は特養 92.6%、短期入所 165.3%。（前年度より特養は1.1%減少、短期入所は37.1%上昇）

【施設管理】平成6年6月1日開設（開設後13年経過）のため、計画的な保全が必要。

平成18年度実績 ○特養 延入所者数 ○短期入所 延利用者数

	4月～3月
要支援2	12
要介護1	42
要介護2	27
要介護3	173
要介護4	220
要介護5	270
計	744

	4月～3月
実利用人数	327
延べ利用日数	2,414
利用率 (%)	165.3

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	負担金補助及び交付金	82,626,000	86,496,000	69,037,000		
	料金収入等	267,343,000	258,115,000	258,111,000		
	管理経費	349,969,000	344,611,000	327,148,000		
決 算	負担金補助及び交付金	85,656,000	84,992,176			
	料金収入等	260,657,388	266,389,652			
	管理経費	321,180,760	319,607,460			
	収 支	25,132,628	31,774,368			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[4]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】		
7. 評価		
「A+」（優良）：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」（妥当）：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」（課題あり）：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」（要改善）：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	良好なサービス提供がなされている。
②事業（区の事業、自主事業）	A	特養の稼働率はやや減少したが、短期入所の稼働率は大幅に上昇しており、おおむね良好である。また、各フロアに職員の顔写真を掲出し好評を得ている。台東区歯科医師会の口腔ケアモデル事業に協力し、検証事業を実施した。
③施設の管理（補修、緊急対応等）	A	施設側で対応できる範囲においては良好な管理が行われている。前年度から行っている建物屋上の屋上緑化についても環境への配慮から良好な管理を行っている。
④利用者の満足度等	A	18年度第三者評価の利用者調査結果では、利用者の満足度は総じて高い評価を得ている。施設が実施する利用者満足度調査の内容について工夫が必要である。
⑤歳入歳出	A	主に業務委託費の削減により、管理経費等を縮減できている。
⑥総合評価	A	概ね良好である。
8. 課題への対応等		
24時間対応施設として常に施設の保守・保全に努めている。開設後13年経過し、施設は老朽化が進んでいるが、計画的な修繕や不具合発生時の早急な対応により良好な施設管理を行うことができている。開設当初に購入した備品については、順次計画的に購入していく。施設運営については、より一層利用者本位のサービス向上に努め、安定経営に向けた取組みを推進する。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	特別養護老人ホーム台東	指定管理者の名称	社会福祉法人 聖風会
-----	-------------	----------	------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】社会福祉法人聖風会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、昭和30年1月6日に設立した社会福祉法人である。

- 【業務内容】 (1) 第一種社会福祉事業…特別養護老人ホーム（5）、軽費老人ホーム（1）
 (2) 第二種社会福祉事業…高齢者在宅サービスセンター（8）、短期入所（5）
 支援センター（5）、ヘルパーステーション（2）、グループホーム（1）
 (3) 公益を目的とする事業…ケアマネジメントセンター（8）

【経営の状況】（18年度決算ベース）

〔社会福祉事業会計〕歳入 3,805,503,679円、歳出 3,555,071,234円、収支差額 250,432,445円

〔公益事業特別会計〕歳入 84,466,720円、歳出 97,344,130円、収支差額 -12,877,410円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区台東1-25-5 【開設】平成13年6月1日（6年経過）

【建物概要】延べ床面積 21236㎡のうち3352㎡ 鉄筋コンクリート造 地上14階地下2階のうち4階・5階部分 居室、個室、食堂、浴室、クィーンルーム、医務・看護室など

【入所定員】50名

【職員数】44名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1[兼務])、事務員(常勤1、非常勤1)、相談員(1)、介護職員(常勤20、非常勤14)、看護師(4)、栄養士(1)、その他(非常勤2)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】入居者の日常生活援助（食事、排泄、入浴等の介護）、健康管理、機能訓練、環境整備、レクリエーション、季節行事の実施。地域行事（夏休み子供祭り、地域ふれあい祭り）の支援、防災訓練の実施。併設事業として短期入所生活介護（10床）の運営を行い日常生活援助（食事、排泄、入浴等の介護）、レクリエーション、（行事の参加）、利用時の送迎を行う。施設、附属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等

【事業の特徴】法人の運営理念（①相手の立場で見る・聴く・考える ②相手の笑顔・自分の笑顔 ③その人がその人らしく生きること）に基づき、ユニット的ケアに取り組み、一人ひとりの状態に合わせたサービスを提供する。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】ベッドの稼働率目標を、特養95%、短期入所100%に設定。18年度の実績は特養92.2%、短期入所112.1%。（前年度より特養0.2%、短期入所2.3%減少）

【施設管理】平成13年6月1日開設（開設後6年経過）のため、計画的な修繕・保全が必要。

平成18年度実績 ○特養 延入所者数 ○短期入所 延利用者数

	4月～3月
要支援2	0
要介護1	0
要介護2	1
要介護3	117
要介護4	266
要介護5	212
計	596

	4月～3月
実利用人数	626
延べ利用日数	4,103
利用率(%)	112.1

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	負担金補助及び交付金	53,699,000	55,831,000	47,736,000		
	料金収入等	242,398,000	233,573,000	234,098,000		
	管理経費	296,097,000	289,404,000	281,834,000		
決 算	負担金補助及び交付金	56,417,000	54,550,062			
	料金収入等	257,278,521	248,813,851			
	管理経費	283,065,121	285,379,688			
	収 支	30,630,400	17,984,235			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇 [3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[4]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良)：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」 (妥当)：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」(課題あり)：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」 (要改善)：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	良好なサービスの提供がなされている。
②事業(区の事業、自主事業)	A	良好なサービスの提供がなされている。短期入所については、稼働率の目標値を達成した。
③施設の管理(補修、緊急対応等)	A	施設側で対応できる範囲においては良好な管理が行われている。防災訓練や行事を通じ、複合施設内の他機関や地域との連携を図った。
④利用者の満足度等	A	満足度調査からも大多数が「満足、特に不満はない」と回答。調査後施設の自己評価、改善への取組み等対応を明確にしている。結果等については、事業報告書において報告している。
⑤歳入歳出	A	稼働率の向上により、介護報酬等の増収を図る。
⑥総合評価	A	概ね良好である。
8. 課題への対応等		
24時間対応施設として常に施設の保守・保全に努めている。開設後6年経過し、施設の各所に経年による劣化が見え始めているが、早急な対応により良好な施設管理を行うことができている。開設当初に購入した備品については、経年劣化の度合を精査し、順次計画的に修理もしくは購入していく。施設運営については、より一層利用者本位のサービス向上に努め、安定経営に向けた取組みを推進する。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	特別養護老人ホーム蔵前	指定管理者の名称	社会福祉法人 東京援護協会
-----	-------------	----------	---------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】社会福祉法人東京援護協会は、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、昭和24年5月に財団法人として設立し、昭和27年5月に社会福祉法人に組織変更した。

【業務内容】1. 高齢者部門＝特別養護老人ホーム（4）、ケアハウス（1）、高齢者在宅サービスセンター（6）、居宅介護支援事業所（6）、在宅介護支援センター（2）、地域包括支援センター（3）
 2. 障害者部門＝知的障害者更生施設（2）、知的障害者授産施設（4）、身体障害者授産施設（3）、地域活動支援センター（1）、福祉ホーム（1）
 3. その他部門＝措置施設（3）

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,885,783,503 円、歳出 2,962,959,316 円、収支差額 -77,175,813 円
 [社会福祉授産特別会計] 歳入 1,090,021,684 円、歳出 992,894,708 円、収支差額 97,126,976 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区蔵前2-11-7
 【開設】平成7年5月1日（12年経過）
 【建物概要】延べ床面積 3937㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階
 相談室、居室、食堂、ボランティア室、浴室（機械浴、一般）など
 【入所定員】50名
 【職員数】34名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1[兼務])、事務員(2)、相談員(1)、介護職員(常勤17、非常勤10)、看護師(3)、栄養士(1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】入居者の健康管理、機能訓練、日常生活援助（食事、入浴、排泄）、季節行事、余暇活動(ティ・サービス、クラブ活動など)、年間防災訓練などの事業。
 施設、付属設備及び物品の保全。施設内の整理整頓、その他環境整備。等

【事業の特徴】入居者中心の「より質の高いサービス」の提供を目指し、
 ①誠実、②専門性、③スピード（相談・依頼・苦情等のスピーディーな対応）、④スマイル、⑤セーフティー（安全）の「5S運動」を推進している。

【自主事業】自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】ベッドの稼働率目標を、95%に設定。18年度の実績は95%。（前年度より0.9%減少）
 【施設管理】平成7年5月1日開設（開設後12年経過）のため、計画的な修繕・保全が必要。
 平成18年度実績 ○特養 延入所者数

	4月～3月
要支援2	0
要介護1	18
要介護2	25
要介護3	108
要介護4	167
要介護5	277
計	595

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	負担金補助及び交付金	75,664,800	77,684,000	68,413,000		
	料金収入等	207,833,200	188,053,000	195,286,000		
	管理経費	283,498,000	265,737,000	263,699,000		
決 算	負担金補助及び交付金	77,867,800	67,369,828			
	料金収入等	200,270,703	225,764,505			
	管理経費	259,182,791	275,891,405			
	収 支	18,955,712	17,242,928			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇 [3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[4]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】		
7. 評価		
「A+」（優良）：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」（妥当）：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」（課題あり）：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」（要改善）：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	良好なサービスの提供がなされている。
②事業（区の事業、自主事業）	A	稼働率は前年度に引き続き目標を達成している。ボランティアを活用したミュージックセラピーなどの実施により、入所者の生活の質の向上が図られた。
③施設の管理（補修、緊急対応等）	A	適切な日常の点検及び清掃により、緊急な工事・修繕もなく良好な管理が行われている。
④利用者の満足度等	A	利用者満足度調査の結果、回答者の大多数が満足を得ていると回答。回答から課題となった項目については、改善策を講じている。ただし、平均要介護度が4.11と高いため、利用者の意向が確認できない割合が3割程度ある。調査結果に見えてこない利用者の要望等をどのように受け止め、事業等に反映させていくかが課題である。
⑤歳入歳出	A	管理経費の全体的な見直しを行い、経費縮減に向けた効率的な運営を図る。
⑥総合評価	A	おおむね良好である。
8. 課題への対応等		
24時間対応施設として常に施設の保守・保全に努めている。開設後12年経過し、施設は老朽化が進んでいるが、計画的な修繕や不具合発生時の早急な対応により良好な施設管理を行うことができている。開設当初に購入した備品については、順次計画的に購入していく。施設運営については、より一層利用者本位のサービス向上に努め、安定経営に向けた取組みを推進する。職員の質の向上のための計画の策定及びその計画を踏まえたOJTや研修の充実がなされた。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	あさくさ在宅介護支援センター	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	----------------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区ケアホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区浅草4-26-2
 【開設】平成10年7月1日（9年経過）
 【建物概要】延べ床面積 4588㎡のうち101㎡ 特別養護老人ホーム浅草内 鉄筋コンクリート造地上5階地下1階のうち1階の一部
 【職員数】6名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1[兼務])、相談員(1)、介護職員(4)、看護師(1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】福祉用具の展示、心身状況を踏まえた福祉用具の紹介、選定及び具体的な使用方法並びに住宅の増改築に関する相談及び助言。
 施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】 居宅介護支援事業

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

◆ 18年度施設実績（年間）

(件)

	住宅改修理由書作成	福祉用具相談	苦情	相談件数	認定調査実施	ケアプラン契約(新規)	ケアプラン作成(延べ)	介護予防プラン受託	介護予防プラン作成(延べ)	サービス担当者会議
件数	17	35	4	4,477	450	62	1,011	8	70	117

5. 予算決算の推移（*18年度より、「負担金補助及び交付金」を「委託料」に変更）

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料	1,617,000	1,295,000	2,489,000		
	料金収入等	39,391,000	12,643,000	14,016,000		
	管理経費	41,008,000	13,938,000	16,505,000		
決算	委託料	7,648,679	1,295,000			
	料金収入等	36,954,530	18,541,242			
	管理経費	40,785,858	17,277,829			
	収支	3,817,341	2,558,413			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[-]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[4]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[-] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は3項目を評価】		
7. 評価		
「A+」（優良）：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」（妥当）：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」（課題あり）：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」（要改善）：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	地域包括支援センターに移行後も、相談件数の実績は前年度と比較し大きな落ち込みはなかった。今後も、地域包括支援センターを補完する施設としての役割は大きい。
②事業（区の事業、自主事業）	A	各項目とも良好な事業が行われている。
③施設の管理（補修、緊急対応等）	A	適切な日常の点検及び清掃等により、緊急な工事・修繕はなかった。
④利用者の満足度等	A	利用者からの苦情等はみられないことから、概ね良好に運営されている。今後は全体的に活用できる利用者アンケートとして、実施内容について企画設計していく必要がある。
⑤歳入歳出	A	地域包括支援センターの開設により、業務内容・職員配置等生じた内容変更を行い、自立経営を目指した運営がなされている。
⑥総合評価	A	施設管理や事業において良好な運営がなされている。
8. 課題への対応等		
施設管理に係る最小経費の委託料での運営に努めており、さらに自立経営に向けた取組みを行っていく。 今後も、地域包括支援センターが円滑に機能するための補助機関として相互に連携を強化していく。 また、居宅介護支援事業としての地域高齢者の相談や実態把握、ケアマネージャー支援などに努めるとともに、要援護高齢者及び要援護となるおそれのある高齢者等の在宅生活を支えるための支援体制を維持し役割を果たしていく。		